

2019 参院選

性的少数者に関わる政策課題についてのアンケート・回答
愛知選挙区候補者



日本共産党
すやま
初美(はつみ) 40歳

レインボーなごや 様

2019年7月13日
日本共産党参院選愛知選挙区候補
すやま初美

貴団体から要請のありましたアンケートについて、下記のように回答させていただきます。よろしくお願いいたします。

性的少数者に関わる政策課題についてのアンケート

1 自治体で行われた性的少数者についての大規模調査について

●他の自治体での調査の実施についての賛否はいかがでしょうか。

●賛成、調査は拡大すべきである

- ・反対、調査は必要ない
- ・よくわからない

●上記回答についての詳細や調査結果に現れた人口比についての印象、ご意見をお書きください。

【意見】性的多様性の問題は、かつては他人に知られたくない、知られてはいけない存在であるかのように受け取られ、なかなか表面化しにくい時代が長く続きました。しかし、当事者の皆さんの勇気ある、そして粘り強い取り組みによって、最近では社会の中の一員として、自然に受け入れる認識も広がってきています。今回の調査結果にもそれが現れているように思います。

2 同性婚について

●同性同士で婚姻できることにたいする、賛否はいかがでしょうか？

●賛成

- ・反対
- ・どちらとも言えない

●内縁関係を同性同士でも認めることに関して、賛否はいかがでしょうか？

●賛成

- ・反対
- ・どちらとも言えない



日本共産党
すやま
初美(はつみ) 40歳

その他、ご意見もあればお書きください

【意見】憲法は、「個人の尊重」の理念のもとに、結婚は本人たちの合意だけでできるように定めており、同性婚を認めることは憲法にそったものといえます。日本共産党は他の野党と共同で、性的指向にかかわらず平等に婚姻が認められる「婚姻の平等」を実現する法案を国会に提出し、現在継続審議となっています。法案成立の実現に力を尽くすとともに、自治体でのパートナーシップ条例・制度についても引き続き推進していきます。

3 現職議員による、性的少数者に対する無理解があると思われる発言について

●ご意見をお書きください

自民党の杉田水脈衆院議員（元日本維新の会）は「LGBTは生産性がない」とする一文を雑誌に寄稿し、世論の批判を浴びました。同党議員の差別発言は後を絶たず、今年初めには平沢勝栄衆院議員が、「この人たちばかりになったら国はつぶれてしまう」などと発言しました。これらの根底にあるのは、「国家のために子どもを産め」という恐るべき国家主義思想です。平沢氏は、安倍首相肝いりの自民党改憲推進本部の事務総長をつとめる人物。一連の差別発言は、安倍改憲路線が人権の破壊につながる危険をもつことを如実に示しています。参院選は、この時代逆行の最悪の政権とさよならするチャンスだと思います。

以上